

春日市公私連携型保育所の業務実績評価【対象年度:令和4年度】

1 基本情報

施設名	青葉やまと保育園
公私連携保育法人	社会福祉法人 純正福祉会
担当所管	こども未来課 保育担当

2 施設情報(休館など)

平成30年4月1日 指定管理から公私連携型保育所に移行 園舎は法人が建設 令和2年4月1日新園舎を建築し定員130人→194人に増員
--

3 利用者数

指定期間		1年目	2年目		3年目		4年目		5年目	
年 度		30年度	元年度		2年度		3年度		4年度	
				前年度比		前年度比		前年度比		前年度比
利用者数 施設内訳	合計	134人	134人	100%	163人	122%	174人	107%	179人	103%

4 履行確認項目への評価

分類	履行確認項目	評価の視点	確認内容	評価	特記事項
施設維持管理	清掃	・適正に実施されているか ・衛生管理は適切か			
	設備保守点検	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不具合の対応は適切か			
	警備	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不審者対策は適切か			
	小規模修繕	・適正に実施されているか ・不具合の対応は適切か			
運営業務	運営状況	・公共性・公平性を確保しているか ・協定書・事業計画等どおり実施しているか ・ホームページや園だより等に掲載しているか	・行事計画、事業計画・実績報告及び現地確認 ・延長保育、障害児保育等の実施記録 ・市と連携した適正な入所手続き状況の把握 ・広報活動や情報提供等の実施状況の把握	◎	・新型コロナウイルス感染症拡大により、規模を縮小したりなど工夫を凝らしながら、可能な限り計画どおり実施するよう努めている。 ・玄関のテレビモニターで子どもたちの日常生活を保護者が見られるように工夫をしている。
	サービス水準の維持	・サービスの水準を維持する努力はなされているか ・課題解決の努力をしているか	・事業報告書及び現地確認 ・保育や給食研修等への参加状況 ・課題解決の取組みや保育方針の報告	◎	・園の保育理念やその保育に対する保護者の評価は引き続き高く、年間を通して入所希望者も多く、入所割合も高い。 ・同一法人4園で研修を実施している。
	利用状況の把握	・事業報告書及び現地確認 ・保育や給食研修等への参加状況 ・課題解決の取組みや保育方針の報告	・保育所運営費請求書、延長保育利用状況報告書及び現地確認 ・通常保育や延長・障害児保育等利用者数の把握、児童欠席簿の確認	○	
経理状況	収支決算状況	・適正に執行されているか ・管理コストが上昇していないか	・資金収支予算書・決算書及び現地確認 ・帳票の管理、収支状況報告 ・予算と決算の比較 ・利用者当たりの管理コスト(支出/利用者数) ・保育料等の比率(利用料金/収入)	○	・県の指導監査においても概ね良好であるとの評価である。

4 履行確認項目への評価

分類	履行確認項目	評価の視点	確認内容	評価	特記事項
運営体制	人員の適正な管理	・人員の適正な配置(保育所最低基準)か ・継続的なレベルの維持に努めているか	・運営費請求書・実績報告書(職員名簿)及び現地確認 ・人員の配置状況・勤務体系 ・指導・研修体制 ・知識・経験を有する人の配備	○	・年2回実施している市内公私立保育所合同就職説明会に参加
	利用者の苦情・要望等の対応体制	・苦情等への対応は適切か	・報告書提示及び現地確認 ・苦情・要望への対応体制(第三者委員会)の有無	○	・苦情解決のための体制は整備されている。 ・入園時、クラス懇談会等で苦情解決体制について周知している。
	危機管理体制の確保	・事故・災害発生時の対応はできているか	・防災(消防)計画、避難訓練記録及び現地確認 ・緊急連絡やマニュアル等の作成	○	・同一法人4園でリスクマネジメント研究会をつくり他園と情報交換するなど、危機対応能力の研鑽に努めている。 ・職員向けに幼児安全法講習会、AED講習会を実施
	関係機関・地域との連携体制	・連携を図るための組織・体制を整えているか ・保護者や地域と一体となった利用状況か	・事業報告書及び現地確認 ・定期的な情報交換等の開催実績 ・保護者や地域の子育て支援状況や行事の把握	○	・新型コロナウイルス感染症拡大により、例年行っている地域交流行事の中止を余儀なくされているが、関係機関とは、コロナ禍においても感染対策を取りながら連携を図っている。
その他	福岡県指導監査状況	・指導監査指摘事項の改善状況等は適切か	・監査資料に基づく各項目の状況及び現地確認	○	・県の指導監査においても概ね良好との評価である。
	保健衛生管理体制	・保健衛生管理体制は適切	・事業計画・保健だより及び現地確認 ・乳幼児や保育所職員の健康診断の実施状況 ・感染症や食中毒予防等の助言・指導状況	○	・給食室は毎日オゾン殺菌を実施 ・感染症予防対策として各クラスに加湿器、空気清浄機を設置、冬期はお茶によるうがい子どもたちに実施

5 加点項目への評価

評価内容	特記事項
協定書等での規定はないが、自主的に取り組まれているもの	・応答的保育(子どもの行動に対して、子どもを取り巻く人、物、自然などからの反応を重視する保育)を基盤に0～2歳は担当制保育、3歳～5歳はモンテッソーリ教育(教具の形、大きさ、手触り、重さ、材質にまでこだわり、子どもたちの繊細な五感をやわらかく刺激する配慮をし、また子どもの自発性を重んじている教育)を行い、異年齢混合保育を実施し、安定した園生活のなかで自ら考え行動できる子どもの育成、他者への信頼感を育てるといった園の保育の目標に沿って保育実践を行っている。 ・食材はできるだけ国産、福岡県産の食品を使い地産地消に取り組むなど食育を実践している。 ・3～5歳児は近隣の大和公園の清掃を定期的に行っている。 ・幼保小連携事業に協力的に取り組みを行っている。

6 総合評価

評価	コメント
A 優れている。	・環境に関する講話を行うなどカリキュラムに創意工夫が見られ、園の保育理念(モンテッソーリ教育)やその保育実践に対する保護者の評価は高い。 ・幼保小連携事業に協力的に取り組みを行っている。